

社会資本総合整備計画書

(茨城県 日立市)

平成28年 3月28日 提出

平成29年 3月31日 変更

平成30年 3月30日 変更

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成30年3月30日

計画の名称	日立市 都市公園の整備による安全・安心なまちづくり（防災・安全）							重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成28年度 ～ 平成30年度（3年間）			交付対象	日立市				
計画の目標									

平成23年の東日本大震災で被災した中央体育館の改築が平成28年度に完了となる。開館後には、各種大会、市民スポーツ・レクリエーション及び文化イベント等の拠点施設となり、平成31年には茨城国体が開催される予定である。これらの多くの利用によって施設利用者の増加が見込まれることから駐車場の整備を図り、利便性の向上と利用者の拡大を図る。さらに、中央体育館（池の川さくらアリーナ）については、県計画（第4次地震防災緊急事業5カ年計画）により災害時の地域防災拠点施設、避難施設に指定されたことから、市地域防災計画において、整備する駐車場を災害時の緊急ヘリポート（場外離着陸場）と位置づける予定である。
また、長寿命化計画を策定し、公園施設を適切に維持管理していく。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・市民運動公園拡張整備（駐車場新設等）により、災害時に避難可能となる人数の増加
- ・長寿命化計画を策定した公園の割合の増加

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考								
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H30末)									
災害時に避難可能となる人数 (公園内有効面積/1人当たりに必要な避難空間面積 2㎡)	(3,500㎡) 1,750人	(13,100㎡) 6,550人	(24,700㎡) 12,350人									
長寿命化計画策定済みの公園の割合 (長寿命化計画策定済みの都市公園数/長寿命化計画策定予定の都市公園数【43公園】)	(0公園) 0%	-	(11公園) 25.58%									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	426百万円	A	426百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	-

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H28	H29	H30	H31	H32				
A1-1	公園	一般	日立市	直接	日立市	都市公園事業（市民運動公園）	駐車場整備	日立市	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	382	-	策定中	H27～H28は別事業で実施
A1-2	公園	一般	日立市	直接	日立市	日立市都市公園安全・安心対策事業	長寿命化計画策定（11公園）	日立市	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	44	-	-	
合計（都市防災・公園事業）												426					

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H28	H29	H30	H31	H32		
合計																

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H28	H29	H30	H31	H32		
小計												0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考		

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成30年3月30日

計画の名称	日立市 都市公園の整備による安全・安心なまちづくり（防災・安全）		重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成28年度 ～ 平成30年度（3年間）	交付対象	日立市	
計画の目標	<p>平成23年の東日本大震災で被災した中央体育館の改築が平成28年度に完了となる。開館後には、各種大会、市民スポーツ・レクリエーション及び文化イベント等の拠点施設となり、平成31年には茨城国体が開催される予定である。これらの多くの利用によって施設利用者の増加が見込まれることから駐車場の整備を図り、利便性の向上と利用者の拡大を図る。</p> <p>さらに、中央体育館（池の川さくらアリーナ）については、県計画（第4次地震防災緊急事業5カ年計画）により災害時の地域防災拠点施設、避難施設に指定されたことから、市地域防災計画において、整備する駐車場を災害時の緊急ヘリポート（場外離着陸場）と位置づける予定である。</p> <p>また、長寿命化計画を策定し、公園施設を適切に維持管理していく。</p>			

交付金の執行状況

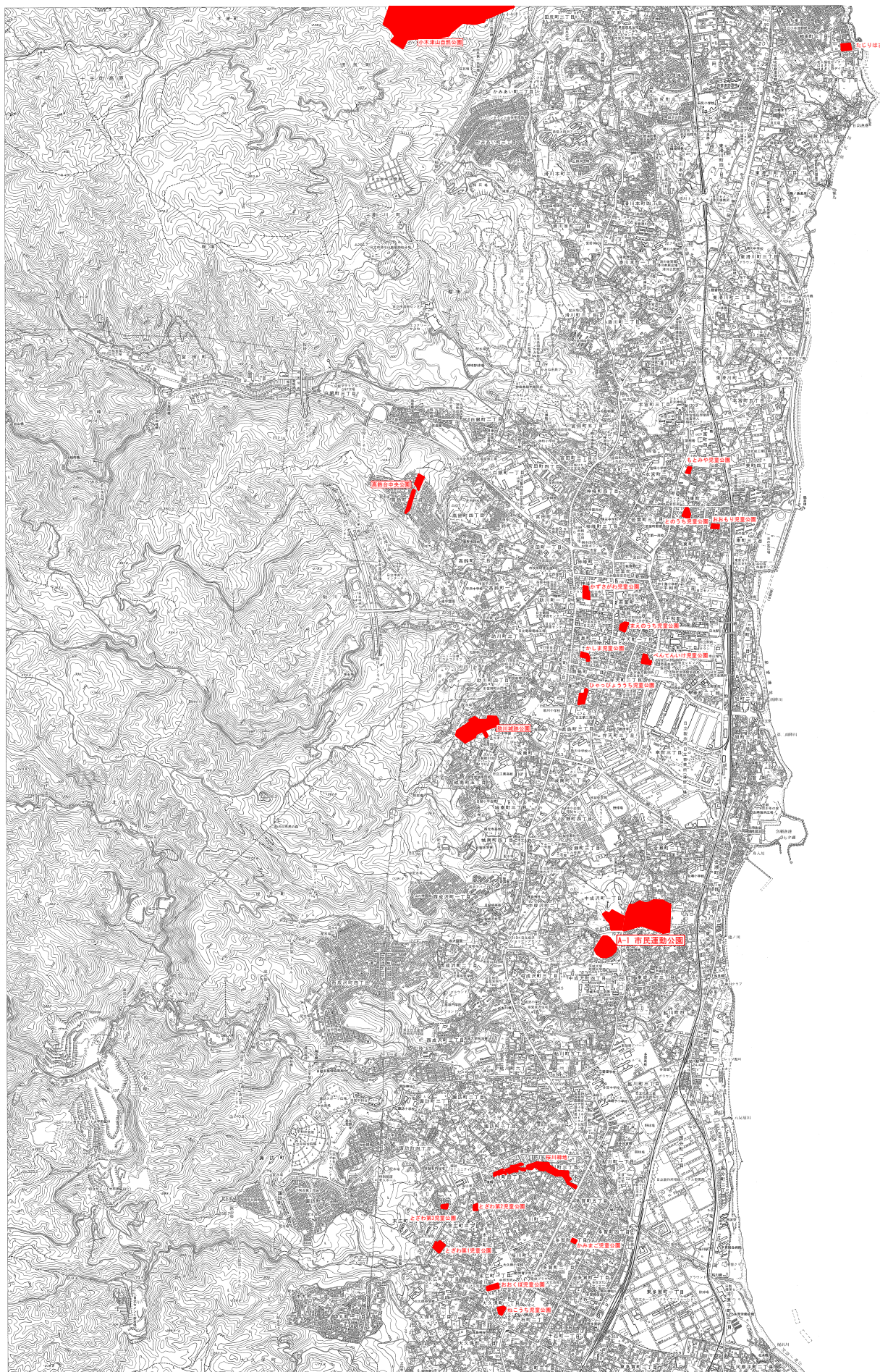
（単位：百万円）

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	6	120			
計画別流用 増△減額 (b)	△ 1	0			
交付額 (c=a+b)	5	120			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	5	68			
翌年度繰越額 (f)	0	52			
うち未契約繰越額 (g)	0	52			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	43.3%			
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	-	工事の円滑な進捗を図るため、工事着工箇所及び施工方法の見直し等の検討に不測の日数を要したため。			

計画の名称	1 日立市 都市公園の整備による安全・安心なまちづくり (防災・安全)		
計画の期間	平成28年度～平成30年度 (3年間)	交付対象	日立市

図 2

■ 策定予定公園



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 日立市 都市公園の整備による安全・安心なまちづくり(防災・安全)

事業主体名: 日立市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1) 上位計画等との整合が確保されている。	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	
1) 地域課題(利用環境の向上、安全・安心の確保等)を踏まえた目標設定となっている。	○
2) 市民運動公園利用の中心となる運動施設整備の観点から整備の位置付けは高い。	○
3) 広域的観点から、都市公園整備地区の位置付けが行われている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	
1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
②定量的指標の明瞭性	
1) 指標・数値目標が明瞭なものとなっている。	○
③目標と事業内容の整合性	
1) 目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	
1) 十分な効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	
1) 計画について住民等との合意形成ができている。	○
2) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	
1) 事業推進に向けた地域の機運が醸成されている。	○